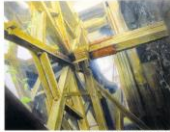


### Pick Up News

10月。例年であれば気持ちのよい秋晴れが続く時期ですが、今年は台風に見舞われています。先日の台風19号は宮城県内にも大きな被害をもたらしました。さまざまな形で被害にあわれた学生も少なくないのではないかと推察しています。心からお見舞い申し上げます。災害と言えば、これまで地震・津波への備えは充実して進められてきましたが、その他の自然災害に対しては、まだまだ意識も対策も十分ではないことが露わになりました。何十年に一回と言われるような災害が頻発する昨今。自然災害に対する意識を大きく変えていかなければならない時期にあるのではないのでしょうか。そのような中で建築はどのようにあるべきか。建築各分野からアプローチするべき課題も多いと考えています。台風にも翻弄された10月ですが、11月は実りの多い、充実した学びの時間となることを願っています。



「東北の建築を描く展」は13回目を迎え、今年は過去最多の出展がありました。10/12に表彰式を執り行いました。

第13回 東北の建築を描く展

恒例の台湾中原大学への留学もスタート。4名が2か月間の留学に参加しています。留学生活の様子(レポート)はホームページで公開中です。11月からは中原大学の3名の学生を迎えます。



### 大学祭建築学科企画「折り紙照明展」

建築学科の大学祭企画として、今年は「折り紙照明展」を開催する予定でした。残念ながら台風により大学祭が中止となり、皆さんにお披露目することは叶いませんでした。この企画は2年生の五十嵐聖人くんが一人で企画、制作、展示したものです。多くの方々に見ていただきかった企画。来年の大学祭でリベンジを図って欲しいと思っています。これからの秋～冬。学科内、どこかで灯してもらいたい、と考えています。

### 建築家 中山英之展 and then 開催される！

ギャラリー・間(東京)で行われた展覧会の巡回展として本学科主催で展覧会と講演会が開催されました。当初、大学祭にてワークショップも開催予定でしたが、台風の影響もあり残念ながら中止。それでも一番町ロビーの会場にあわせての展示と、メディアテークでの講演会には大勢の方が訪れました。福屋研の学生が中山さんとともに創り上げた会場は見応えあるものとなりました。



### Pick Up Lab.

有川研究室は、住宅・建築物の生産・流通から解体・リサイクルに至るライフサイクル全体のマネジメント技術を研究対象としています。材料・生産を基盤としながらも“建築よろず屋”的な性格を持つ研究室です。教員はこれまで、建築材料・建築計画(東北大)、耐久性・維持保全(建設省建築研究所)、材料部材基準・住環境計画・住宅生産(国土交通省国土技術政策総合研究所)といった研究組織に所属し、材料と計画・環境・構造各分野の境界領域をフィールドとして研究してきました。様々な色・素材で構成された“クレイジーパターン”。多様なカラーを持った学生が集う研究室を目指しています。



森林・製材工場の調査



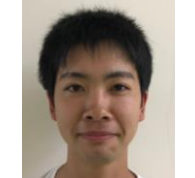
クレイジーパターン



4年 佐藤 夏穂さん  
山形北高校 出身

### Pick Up Student

大学生活も残すところ半年となりました。普通科高校出身ということもあり、建築のことを右も左もわからない状態で入学した私は、授業についていくので精一杯で自分から何かしようという積極性は全くありませんでした。ところが、3年の後期から研究室に配属されたのをきっかけに先輩との交流が増え、様々なプロジェクトに参加したりと今までの自分とは違う行動が増えていきました。その活動の中では自分からは関わることができないような方々からお話を聞けたりと貴重な時間を貰うことができ、自分の視野が広がったように思います。この経験をこれからの生活にも活かしていけるよう頑張っていきたいと思います。



1年 佐々木 悠人くん  
古川工業高校 出身

### Pick Up Student

大学が始まり早くも前期が終了しました。私は工業高校で建築を学んでいた為、教養科目の講義についていけるか心配でした。しかし、支援講座や友達のサポートがあったおかげでしっかりと理解することができました。また、課外活動では学生有志団体のcolorsと卒業設計日本一決定戦を運営進行する仙台建築都市学生会議への参加により友達や先輩方との交流が増え、建築についての知識やスキルなどを沢山得ることができました。後期では更に専門科目が増え設計課題も出てきます。街の中や雑誌、インターネットなどからヒントを得て、楽しむ事でモチベーションを上げながら後期の課題に取り組みたいと思います。